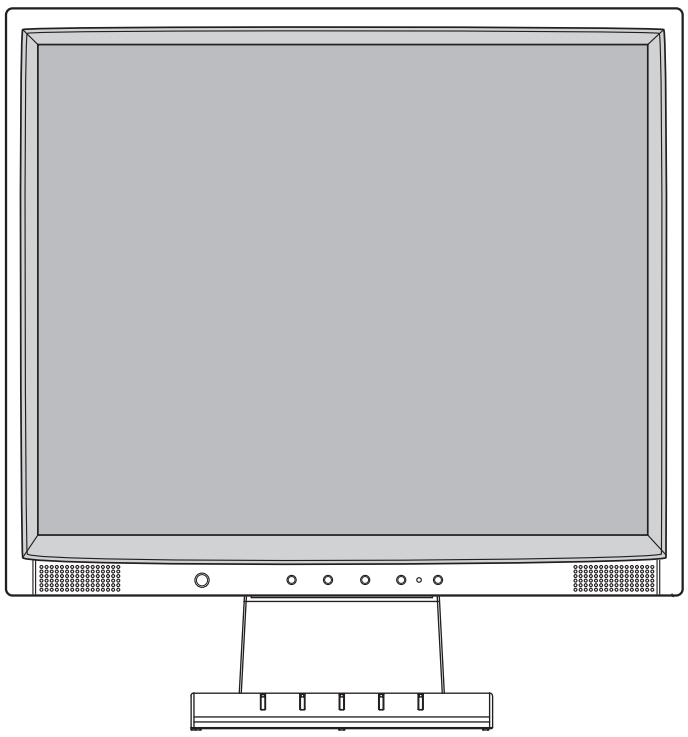
NEC

15 型液晶ディスプレイ

N8171-49

取扱説明書



■この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。また、本文中の名称については本書の「各部の名称」の項をご参照ください。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■取扱説明書は「保証書」と共に大切に保管してください。
■本機を譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も一緒に譲渡してください。
■本取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業にお問い合わせください。

もくじ　ページ

ご使用の前に…… 2
　何ができるの？ …… 2
　付属品の確認 …… 2
　本書の見かた …… 3
安全上のご注意［必ずお読みください］ …… 4
推奨使用方法…… 7
各部の名称…… 8
　本体正面 …… 8
　本体背面 …… 9
接続……10
　ベーススタンドとケーブルフォルダーを取り付ける‥ 10
　接続方法について…… 10
　接続する …… 11
　ヘッドホンの接続…… 13
　付属のユーティリティーディスクについて…… 13
設定……14
　自動調節をする …… 14
画面調節（OSD 機能）……15
　OSD画面の基本操作…… 15
　OSD機能について…… 16
　主なOSD機能…… 17
　OSD機能による画面の調節が必要となる場合 … 18
機能……19
　その他の機能について…… 19
困ったとき……20
　故障かな？と思ったら…… 20
　保証とアフターサービス…… 23
付録……24
　N8143-54 液晶ディスプレイ/
　キーボード収納ユニットに取りつけるとき…… 24
　市販のアームを取りつけるとき …… 25
　再梱包するとき …… 26
　用語解説 …… 27
　仕様 …… 29
　FCC…… 30
　さくいん ……裏表紙

ご使用の前に

何ができるの？

明るさや色の調節をしたい

■ OSD機能(On Screen Display)*(→P15)*

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラー調節などをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作(OSDオートオフ、OSDロックなど)もできます。

スタンドの角度を調節したい

■ スタンド調節機能*(→P13)*

角度を上下方向に調節することができます。

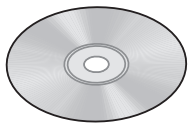
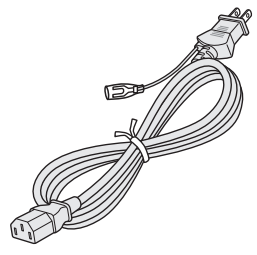
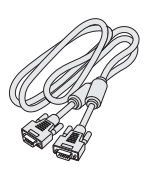
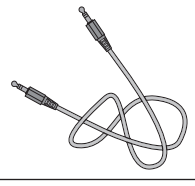
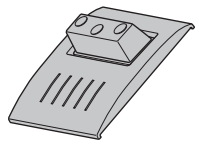
本機は、アナログ信号を受けて画像を表示することができます。接続に際しての詳細は「接続方法について」*(→P10)*に記載してあります。

接続方法	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
アナログ接続	DVI-I端子※、ミニD-SUB15ピン端子	要*(→P14)*

※ DVI-I端子によるアナログ接続には、変換アダプター(市販)等が必要となります。詳しくは「接続方法について」*(→P10)*をご覧ください。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

ユーティリティーディスク(テストパターンおよびセットアップ用*(→P13)* Windows対応) 	電源コード 	信号ケーブル  ミニD-SUB15ピン ーミニD-SUB15ピン(アナログ接続用)	ケーブルフォルダー
取扱説明書(本書)		オーディオケーブル 	ベーススタンド 
セットアップシート(本体に貼り付けてあります。)			
保証書			
液晶ディスプレイ構成品表			

本書の見かた

本書の表記のしかた

お 願 い:取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ:取扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX):参考にしていただきたいページ

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」*(→P2)*
説明の内容から探す→「本書の構成と分類」*(→P3)*
言葉と意味で探す→「用語解説」*(→P27)*
もくじで探す→「もくじ」*(→表紙)*
さくいんで探す→「さくいん」*(→裏表紙)*

本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

ご使用の前に*(→P2)*

ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

安全上のご注意*(→P4)*

万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

各部の名称*(→P8)*

後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

接続*(→P10)*

ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

画面調節（OSD機能）*(→P15)*

画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

その他の機能(→P19)

本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

困ったとき*(→P20)*

故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

付録*(→P24)*

用語の解説、さくいんなどを掲載しています。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

本製品はJEITA「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記」ガイドラインを満たしています。液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は、99.99975% 以上です。

本製品は、ISO9421-307に従い、1 ドットは1 サブピクセル（sub pixels）と定義しております。ガイドラインの詳細については、以下のWEB サイトをご覧ください。

「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」

http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

【注】本文では、一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、本内容をISO9421-307に従い、正確表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixel)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

■本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
■本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
■本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
■乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

安全上のご注意［必ずお読みください］

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ずアースリード線を接地（アース）してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意（本体後面に表示）

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

⚠警告

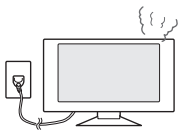
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜き液晶ディスプレイを安全な場所に移動する！！

スタンド部にひびや亀裂がある、液晶ディスプレイがぐらつく、異臭がするなどの異常がある場合、そのまま使用すると、液晶ディスプレイの落下・火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減する為に、転倒・落下防止対策をおこなってください。
転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない

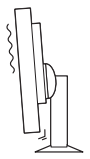


使用禁止

火災・感電の原因になります。

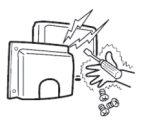
液晶ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は使わない

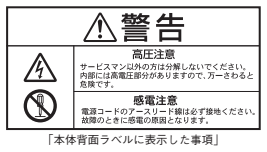
そのまま使用すると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因になります。



使用禁止

裏ぶたをはずさない

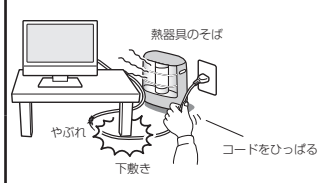




「本体背面ラベルに表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

電源コードを傷つけない



傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

傾斜面や不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

禁止

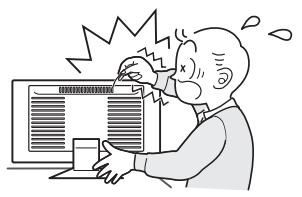
キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因になります。

使用禁止

異物をいれない

特にお子さまにご注意



禁止

火災・感電の原因になります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

アース線を接続せよ

風呂場や水のかかるところに置かない

水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

水ぬれ禁止

アースリード線を挿入・接触しない

禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

⚠警告

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災･感電の原因になります。
一般のご家庭のコンセント(AC 100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。

修理･改造をしない

けが･火災･感電の原因になります。

修理･改造禁止

ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意
本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

禁止

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。
万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。

警告

本装置の使用環境について

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因になります。

接触禁止

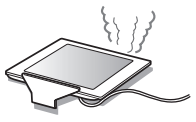
⚠注意

設置のときは次のことをお守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

狭い所に置かない

設置禁止

あお向けや横倒し、さかさまにしない



禁止

直射日光や熱器具のそばに置かない

設置禁止

布などで通風孔をふさがない

禁止

車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。

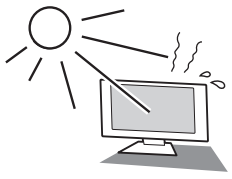
禁止

振動の多い所に置かない

縦型で使用した時、色ムラの原因になります。

禁止

屋外での使用禁止



屋外での使用禁止

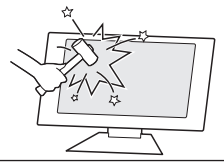
本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

設置禁止

液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因になります。



禁止

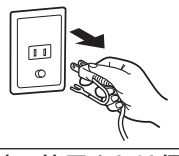
接続線をつけたまま移動しない

火災･感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認の上、移動してください。

禁止

電源プラグを持って抜く

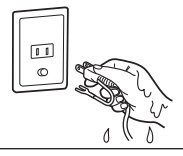
コードを引っ張ると傷がつき、火災･感電の原因になります。



プラグを持つ

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないで下さい。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないで下さい。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙･発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

禁止

⚠注意

電源プラグを奥までさしこむ
しっかりと差し込まれていないと火災･感電の原因となることがあります。

しっかり差し込む

お手入れの際は電源プラグを抜く
感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.

プラグを抜く

スタンドに指や手をはさまない
角度調節時に指や手をはさむとけがの原因になります。

ケガに注意

手の挟みこみに注意

液晶ディスプレイを廃棄する場合
液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく廃棄してください。詳細は所在の地方自治体にお問い合わせください。

１年に一度は内部掃除を
内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。
内部掃除は販売店にご依頼ください。

内部掃除

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的にとる
火災の原因になります。
１年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。

ほこりを取る

推奨の溶剤でお手入れする
キャビネット及びスタンドの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質･ひび割れしたり、塗装がはげる原因となります。(化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。同様にキャビネット及びスタンドが変色したり、変質･ひび割れするなどの原因となります。パネル表面のお手入れにつきましても、溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。(水、エタノール、イソプロピルアルコール)
推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊する恐れがあります。

使用禁止

液晶ディスプレイの上手な使い方

キャビネットのお手入れ
お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
溶剤をご使用の際は“推奨の溶剤でお手入れする”にて使用できる溶剤をご確認ください。

プラグを抜く

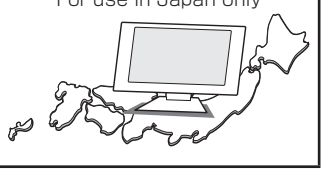
液晶パネルのお手入れ
パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
溶剤をご使用の際は“推奨の溶剤でお手入れする”にて使用できる溶剤をご確認ください。

上手な見方
画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

日本国内専用です
この液晶ディスプレイは日本国内用として製造･販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

国内専用

For use in Japan only

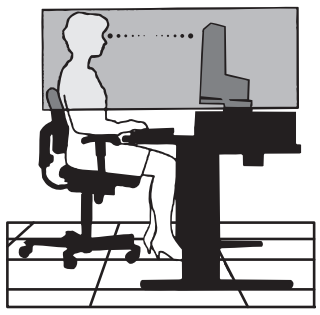


⚠重要なお知らせ 残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

推奨使用方法

液晶ディスプレイを正しい位置に置いて正しく調節することで、目、肩および首の疲労を軽減することができます。液晶ディスプレイの前にすわる際には以下の点を確認してください。



- 最適な性能を得るためには、ウォームアップのため20分間の余裕をもたせるようにしてください。
- 画面の上部が目線か目線より少し下にくるように液晶ディスプレイの高さを調節します。画面の中央を見たときに、目線がわずかに下がるようにします。
- 液晶ディスプレイは、目の位置から40センチ以上離し、また70センチ以上離れない位置に設置します。目から液晶ディスプレイまでの最適な距離は50センチです。
- 6メートル以上離れたものを定期的に見るようにして、目を休ませてください。時々、まばたきをするようにしてください。
- 画面のぎらつきや反射を最小限に抑えるため、窓などの光源に対して90度になるように液晶ディスプレイを設置します。天井の照明が画面上に反射しないよう、液晶ディスプレイの傾きを調節します。
- 光の反射で画面が見にくい場合には、ぎらつき防止フィルタを使用してください。
- ほこりの付かない表面の滑らかな布を使って液晶ディスプレイの表面を拭いてください。クリーニング溶剤もしくはガラスクリーナーの使用は避けてください。
- 画面が見やすくなるよう、液晶ディスプレイの輝度およびコントラスト制御を調節します。
- 文書フォルダーは画面の近くに置いて使用してください。
- より頻繁に見るもの（画面もしくは参照資料）が直接目の前にくるように配置することで、キーボード入力中の頭の動きを最小限に抑えることができます。
- 画面の焼き付き（残像効果）を防止するため、長時間にわたって固定したパターンを表示することは避けてください。
- 定期的に眼科検診を受けてください。

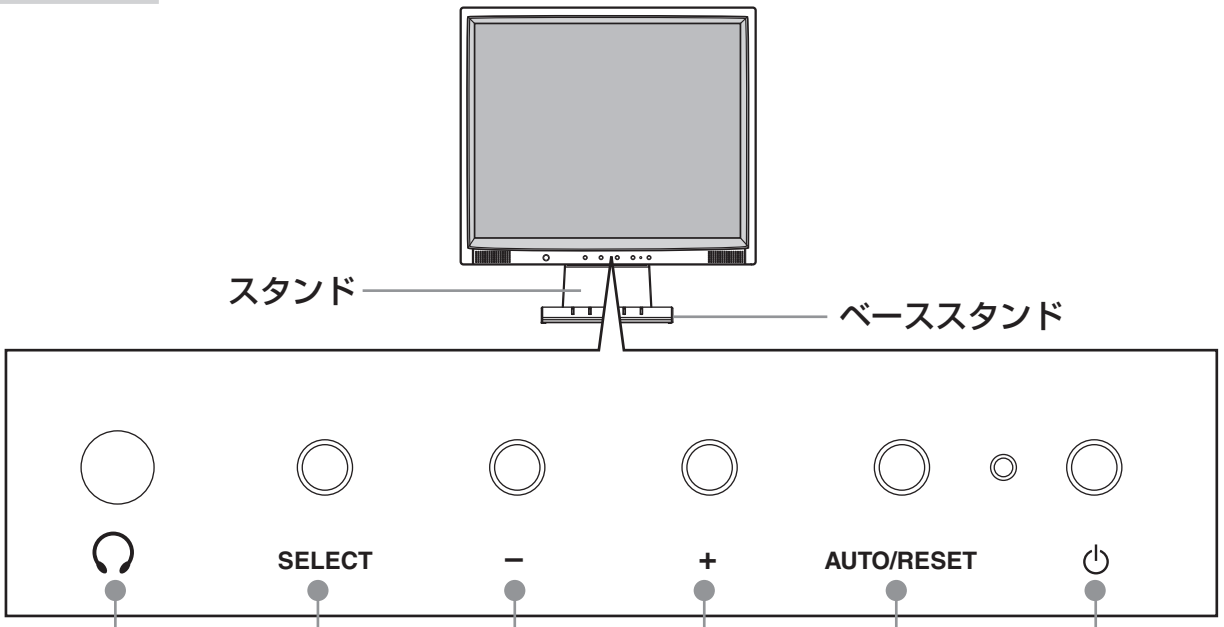
お知らせ

人間工学上の利点を最大限に発揮させるため、以下を推奨します。

- 標準信号を用いて、プリセットされた画面サイズ・位置にて使用ください。
- あらかじめ設定されている色を使用ください。
- リフレッシュレート60～75Hzのノンインターレース信号にて使用ください。
- 暗い背景上の青の原色表示は見にくく、又、コントラスト不足による目の疲労を引き起こす恐れがあるため、使用はお控えください。

各部の名称

本体正面



ヘッドホン端子
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

SELECT ボタン
OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
選んだ調節項目を決定します。

−ボタン
OSD画面が表示されていないとき
（ホットキー機能）
ブライトネス調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

＋ボタン
OSD画面が表示されていないとき
（ホットキー機能）
音量調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

AUTO/RESET ボタン
OSD画面が表示されていないとき
（ホットキー機能）
自動調節を実行します。
OSD画面が表示されているとき
現在表示中のメニュー内の項目のリセット画面を表示します。*(→P17)*

電源スイッチ
電源をオン／オフするときに押します。

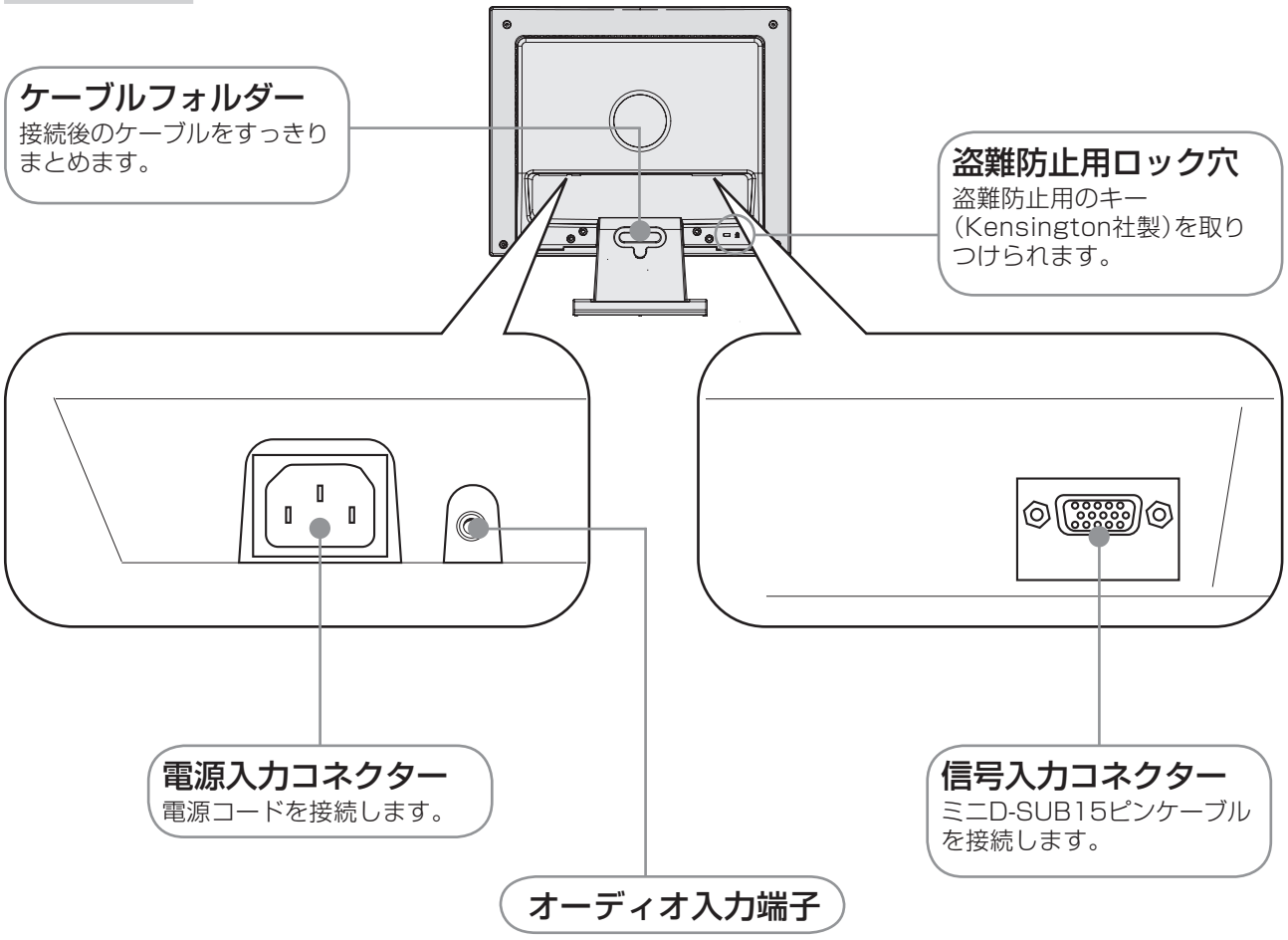
お 願 い

電源を短時間のうちにひんぱんにオン／オフしないでください。故障の原因となることがあります。

お知らせ

● 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」*(→P15)*をご覧ください。

本体背面


ケーブルフォルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。
盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー(Kensington社製)を取りつけられます。
電源入力コネクター
電源コードを接続します。
オーディオ入力端子
信号入力コネクター
ミニD-SUB15ピンケーブルを接続します。

接続

ベーススタンドとケーブルフォルダーを取り付ける

図1のように水平な机の上にベーススタンドを置いてください。ベーススタンドのくぼみに本体スタンド部をあわせ、奥までしっかりさし込んでください。
図2のようにスタンド背面のくぼみにケーブルフォルダーをあわせ、奥までしっかりさし込んでください。

図 1

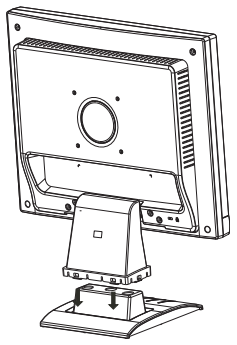
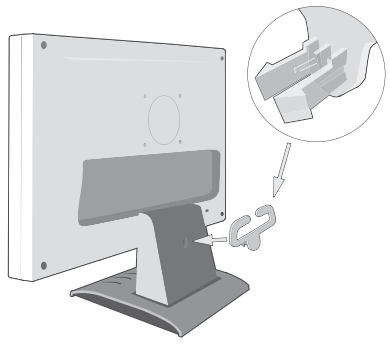


図 2

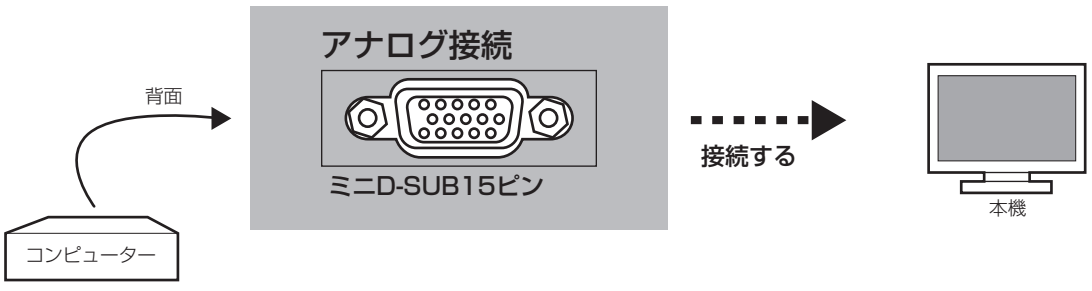


⚠注意

ベーススタンドと本体スタンド部が確実に取り付けられていないと本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
取り付けた際にベーススタンドと本体スタンドの四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。
ベーススタンドに本体を取り付ける際に指をはさまないように注意してください。また、ベーススタンドを本体から取り外す際は、ベーススタンドと本体スタンド部を取り付けているつめを4ヶ所外して、ベーススタンドを取り外してください。詳しくは「再梱包するときに」をご覧ください。*(→P25)*
ベーススタンドと本体スタンドは、しっかりと取り付いており、つめもきつくなっておりますので、つめを外す際は十分注意してください。

接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号(ミニD-SUB15ピン)に対応しています。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクターと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	ミニD-SUB15ピン
DVI-I(アナログ接続／デジタル接続)	ミニD-SUB15ピンーミニDSUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)
DVI-D(デジタル接続)	接続できません
ミニD-SUB15ピン(アナログ接続)	ミニD-SUB15ピンーミニDSUB15ピンケーブルで接続

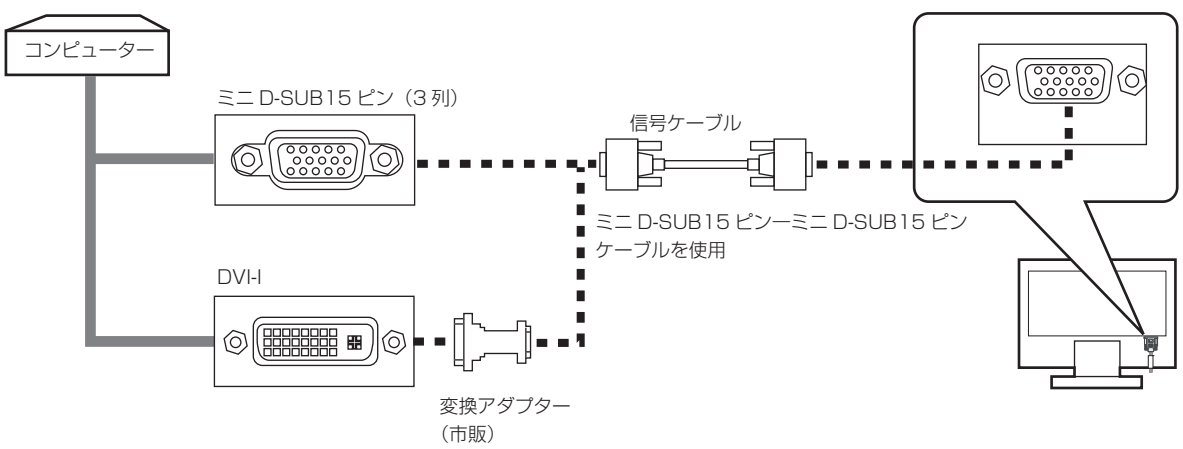
接続する

お 願 い

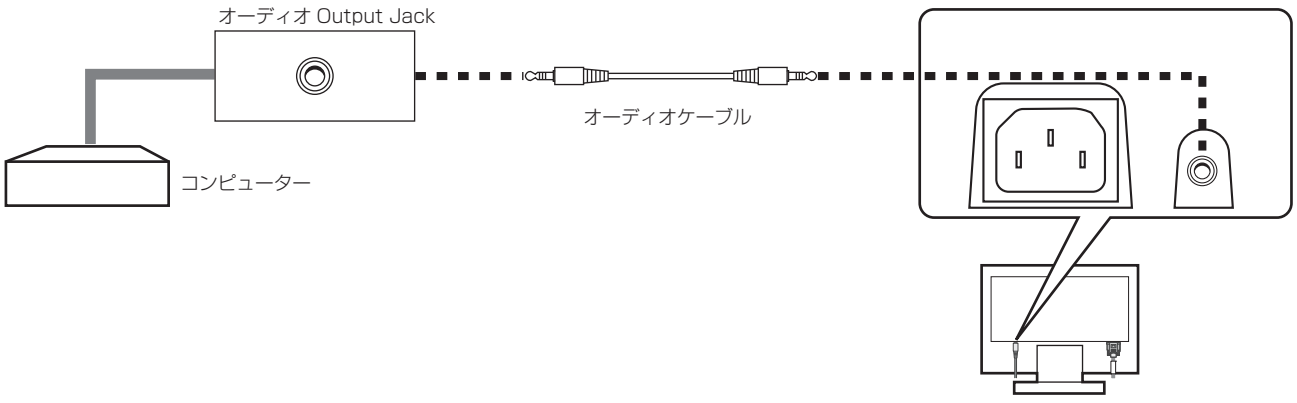
● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。



2 オーディオケーブルを接続する



3 電源を接続する

お 願 い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。(1.0A以上必要です。)
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

お 願 い

- 奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機の角度を変えても、ケーブルが外れないことを確認してください。

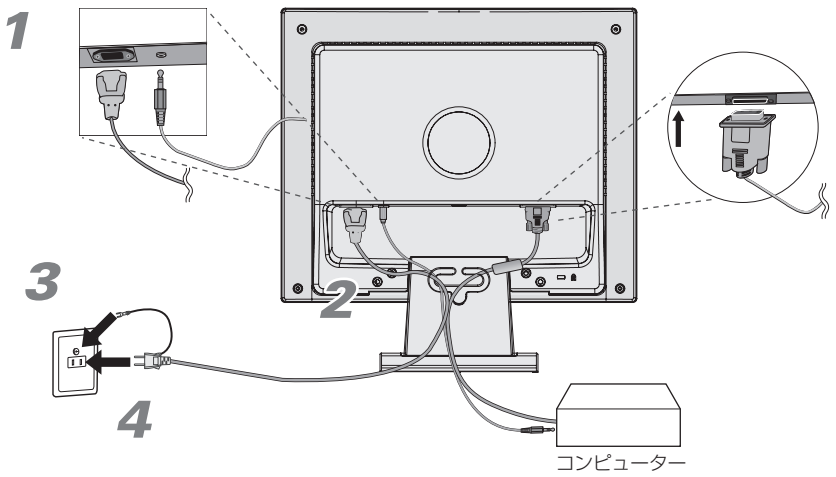
2 電源コードと信号ケーブルとオーディオケーブルをケーブルフォルダーにかける

お 願 い

- 画面を前後に動かし*(→P13)*、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

3 アースリード線を接地（アース接続）する

4 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する



設接
定続

⚠警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。
  AC100V以外ではご使用にならないでください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地(アース)してください。
  なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
  また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お 願 い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
  This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

5 本機およびコンピューターの電源を入れる

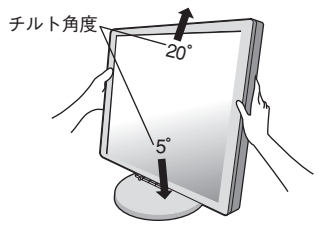
4 調節をおこなう

1 画面の調節をおこなう

まずは「自動調節をする」*(→P14)* の手順にしたがって自動調節をしてください。自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「OSD 機能について」*(→P16)* をご覧ください。

2 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように見やすい角度に調節します。



液晶画面を押さないようにしてください。

⚠注意

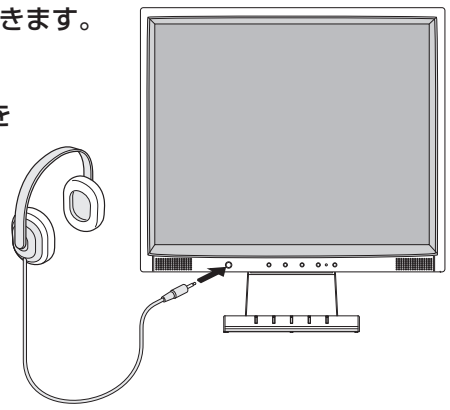
角度調節時に、指をはさまないように気を付けてください。けがの原因となることがあります。

ヘッドホンの接続

液晶ディスプレイ前面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

⚠注意

ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。



お知らせ

- 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

付属のユーティリティーディスクについて

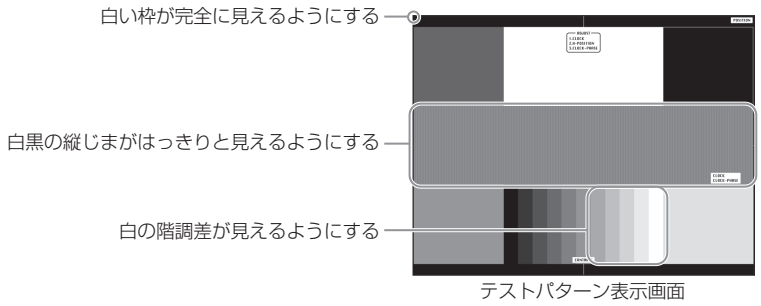
同梱のユーティリティーディスクは、以下のような場合にご使用ください。

Windows® セットアップ

付属のユーティリティーディスクには、ディスプレイのWindows®用セットアップ情報が入っています。このセットアップ情報をご使用のコンピューターにインストールすることで、最大解像度や垂直周波数等がディスプレイの能力に合わせて設定できるようになります。
本機をはじめてコンピューターに接続したときには、付属のユーティリティディスクからセットアップ情報をコンピューターへインストールしてください。
インストール手順はユーティリティディスクのREADME.TXTをご覧ください。

テストパターン

付属のユーティリティーディスクには、テストパターンが入っています。このテストパターンはアナログ接続をした場合の画面調節の際に使用します。
ご使用方法については、ユーティリティーディスクのREADME.TXTをご覧ください。



テストパターン表示画面

設定

自動調節をする

本機をコンピューターと接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。*(→P16)*
自動調節はコンピューターのビデオカードの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。2つともおこなってください。

お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」*(→P15)*をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

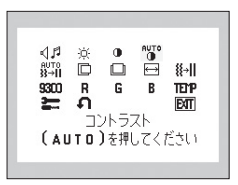
2 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 液晶ディスプレイ前面の「SELECT」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。

4 コントラストの自動調節をおこなう

①「+」ボタンを押し、オートコントラストにカーソルを移動し、「SELECT」ボタンを押します。

②「AUTO/RESET」ボタンを押します。
コントラストの自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。



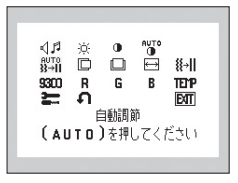
自動調節画面

「実行中」の文字が消えたら調節完了です。手順 5 に進みます。

5 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

①コントラストの自動調節が終わったら、「SELECT」「+」ボタンの順に押し、「自動調節」にカーソルを移動し「SELECT」ボタンを押します。

②「AUTO/RESET」ボタンを押します。左の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。



自動調節画面

「実行中…」の表示が消え、元の画面が表示されたら、調節完了です。
これですべての自動調節が完了しました。

6 以下の手順で OSD メニューを消してください。

①「SELECT」ボタンを押します。
②「+」ボタンを押して「EXIT」のアイコンにカーソルを移動します。
③「SELECT」ボタンを押し、OSD メニューを消します。

お 願 い

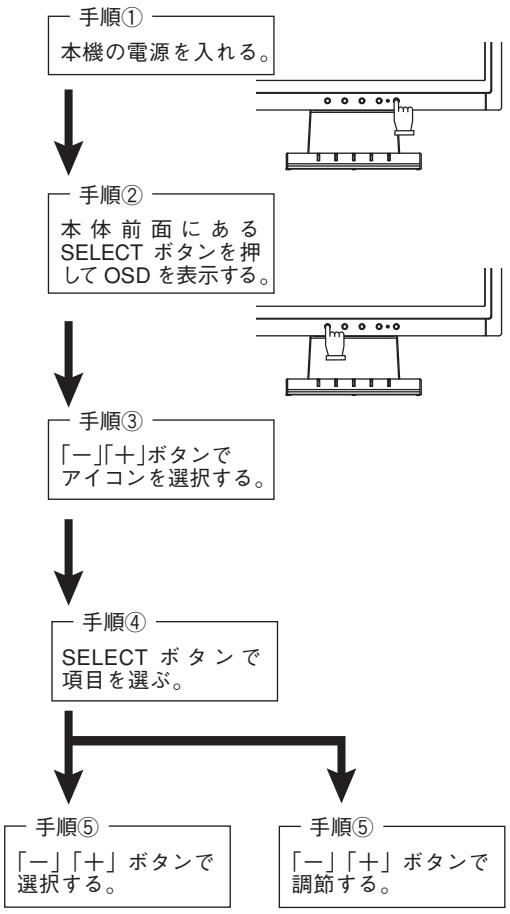
- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく 機能しない場合があります。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、マニュアル調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

画面調節(OSD機能)

OSD画面の基本操作

本機にはOSD(On Screen Display)機能がついています。OSD画面を操作することにより、画面の調節ができます。

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。



その他、OSDで操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

お知らせ

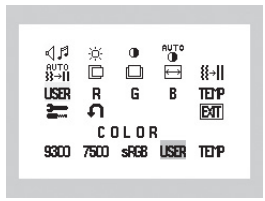
上記のボタンのいずれも押さずOSDオートオフで設定された時間が経過するとOSD画面は自動的に消えます。
(工場設定は45秒です。)

OSD機能について

<table>
<tr><th>アイコン</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>MUTE(消音)時
サウンド</td><td>スピーカーの音量を調節します。
「AUTO／RESET」ボタンを押すと、MUTE(消音)状態になります。
もう一度「AUTO／RESET」ボタンを押すと、MUTE(消音)状態はOFFになります。</td></tr>
<tr><td>ブライトネス</td><td>画面の明るさを調節します。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>コントラストを調節します。</td></tr>
<tr><td>コントラスト(AUTO)</td><td>コントラストを自動調節します。</td></tr>
<tr><td>自動調節</td><td>左右方向、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。</td></tr>
<tr><td>左/右</td><td>左右方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>下/上</td><td>上下方向の表示位置を調節します。</td></tr>
<tr><td>水平サイズ</td><td>画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。</td></tr>
<tr><td>位相</td><td>画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。
また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。</td></tr>
<tr><td>9300
COLOR</td><td>色を調節します。あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。
設定されている色(9300 7500 sRGB USER TEMP)がアイコンで表示されます。</td></tr>
<tr><td>R
RED</td><td>赤色を調節します。</td></tr>
<tr><td>G
GREEN</td><td>緑色を調節します。</td></tr>
<tr><td>B
BLUE</td><td>青色を調節します。</td></tr>
<tr><td>TEMP
TEMPERATURE</td><td>白色の色温度を調節します。(5000～9300)</td></tr>
<tr><td>TOOL</td><td>TOOLアイコンを選択すると下記の言語切替、OSDオートオフ、OSDロック、RESOLUTION NOTIFIER、MONITOR INFO.のアイコンに切り替わります。
<table>
<tr><th>TOOLアイコン</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>言語切替</td><td>OSD画面の表示言語を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>OSD オートオフ</td><td>OSD画面が自動的に消えるまでの時間を設定します。何も操作しない状態で設定時間がたつとOSD画面は自動的に消えます。</td></tr>
<tr><td>OSD ロック</td><td>誤って調節してしまうことを防ぐためのOSDメニュー操作禁止を設定、解除できます。
OSDロック状態でも、音量、コントラストとブライトネスは調節可能です。</td></tr>
<tr><td>xy
RESOLUTION NOTIFIER</td><td>最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン／オフします。</td></tr>
<tr><td>MONITOR INFO.</td><td>MODEL(型名)とSERIAL NUMBER(製造番号)を表示します。</td></tr>
<tr><td>DDC/CI
DDC/CI</td><td>DDC/CI機能をオン／オフします。</td></tr>
<tr><td>EXIT
EXIT</td><td>OSDメニューのTOOLアイコンに戻ります。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>オールリセット</td><td>音量、ブライトネス、コントラスト、左／右、下／上、水平サイズ、色調節、色温度調節、OSDオートオフを出荷時の状態に戻します。</td></tr>
<tr><td>EXIT
EXIT</td><td>OSD画面を消します。</td></tr>
</table>

主なOSD機能

カラー調節



お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。

- **9300、7500**
  色温度調節
  あらかじめ設定されている9300,7500の色温度を選択することができます。
- **sRGB**
  色再現国際規格sRGB*(→P27)*に対応した色で表現します。(RGBの値は調節できません。)
- **USER**
  色調節
  次のそれぞれの色についての調節ができます。
  R:赤色、G:緑色、B:青色
  9300、7500を選択していても、R,G,Bどれかを調節するとその時点で選択がUSERに切り替わります。
- **TEMP**
  色温度調節
  白色の色温度を調節することができます(5000～9300)。5000(－側)にいくほど赤っぽく、9300(＋側)にいくほど青っぽくなります。
- **リセット**
  「AUTO/RESET」ボタンを押すと調節した値が工場設定に戻ります。

ツール

■ **OSDロック**
OSDロック画面を表示している状態で、操作をおこないます。

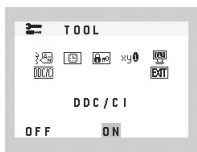
- **OSDメニューの操作をロックする**
  「AUTO/RESET」ボタンを押しながら「＋」ボタンを押すと、OSD がロックされOSDオートオフで設定された時間後にOSDメニューは消えます。
- **ロックを解除する**
  OSDが表示されている状態で、「AUTO/RESET」ボタンを押しながら「＋」ボタンを押すとロックが解除されます。

OSD ロック設定中の OSD 画面

■ **RESOLUTION NOTIFIER**
最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン/オフします。
右のような画面が表示される場合、これを表示しないようにするためには、オフを選択してください。
操作の手順については、「OSD画面の基本操作」*(→P15)*を参考にしてください。

RESOLUTION NOTIFIER の案内画面

■ **DDC/CI**
DDC/CI機能をオン/オフします。
オフを選択した場合は、DDC/CI規格に準拠した制御用ソフトウェアによるコンピューター側からの本ディスプレイの操作はできません。



HOT KEY

■ **HOT KEY**
OSD画面が表示されていないとき各ボタンを押すことで直接調節できます。
「－」ボタンを押すとブライトネス調節画面を表示します。
「＋」ボタンを押すと音量調節画面を表示します。
「AUTO/RESET」ボタンを押すと自動調節を実行します。

OSD機能による画面の調節が必要となる場合

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は画面調節*(→P15)*をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

＜工場プリセットタイミング＞

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
720 × 350	31.5kHz	70Hz	
720 × 400	31.5kHz	70Hz	
640 × 480	31.5kHz	60Hz	
640 × 480	35.0kHz	67Hz	Macintosh
640 × 480	37.5kHz	75Hz	
640 × 480	37.9kHz	73Hz	
800 × 600	35.2kHz	56Hz	
800 × 600	37.9kHz	60Hz	
800 × 600	46.9kHz	75Hz	
800 × 600	48.1kHz	72Hz	
832 × 624	49.7kHz	75Hz	Macintosh
1024 × 768	48.4kHz	60Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75Hz	推奨信号タイミング

* 推奨信号タイミング（アナログ入力時）

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 本機は16種類のタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、OSD機能でお好みの画面に調節*(→P16)*するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～61kHz垂直周波数：56～76Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- インターレース信号には対応していません。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

お知らせ

- 本機は解像度1024×768以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

機能

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

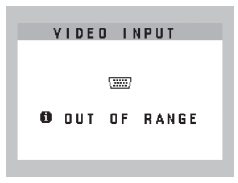
1024ドット×768ラインより低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。
OSD画面の注意画面を表示するとともに「簡易表示機能」により画面を縮小表示しますので、他の高解像度ディスプレイを接続することなく、本機が対応する解像度にコンピューターの設定を変更することができます。



OSD 画面の注意画面

お知らせ

● 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

● 75Hzより高い垂直同期信号では動作しません。

Plug&Play 機能

VESAのDDC(Display Data Channel)2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust）（800 × 600 以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能はVESA DPMS対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	23W	緑色点灯
パワーセーブモード時	2W以下	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号(R, G, B)が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

● キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピューターと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

困ったとき

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

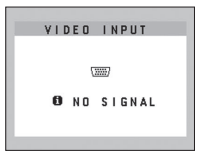
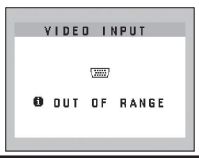
症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または当社営業にご相談ください。	P23
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P8
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P12
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが緑色に点灯している場合	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P15
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または当社営業にご相談ください。	P23
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P16
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 18
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P19
		信号ケーブルが本機またはコンピュータのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または当社営業にご相談ください。	P23

※ 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

表示がおかしいときは…

症　状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	1024×768以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P18
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P27
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P28, 29
画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は1日程度で消えます。	P27
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P15
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または当社営業にご相談ください。	P23
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、またはRESETボタンで工場設定に戻してください。	P17
	● OSD画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 18
画面がちらつく(分配器を使用している場合)	分配器を中継させず、コンピューターと直に接続してください。	P11
画面がちらつく(上記以外の場合)	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P15
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または当社営業にご相談ください。	P23
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P16
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 18

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	原　因	対　処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P11
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P19
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P18
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P18
画面に「RESOLUTION NOTIFIER」が表示された！ 	ご使用のコンピューターから出力されている解像度の信号が推奨サイズ以外に設定されています。	コンピューター本体の解像度を1024×768にしてください。そのままの解像度をお使いでこれを表示させたくない場合は、RESOLUTION NOTIFIERをオフ(非表示)に設定してください。	P17

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症　状	原　因	対　処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	付属のユーティリティーディスクのWindows®セットアップをコンピューターにインストールしてください。*(→P13)*
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターのマニュアルをご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
スピーカーから音が出ない！	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	オーディオケーブルを本機およびコンピュータのコネクターに正しく接続してください。
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。
	音量が最小になっている。または、MUTE(消音)機能が働いている可能性があります。	OSDメニューの「🔇♫」で音量を調節、または「AUTO/RESET」ボタンを押してMUTEをOFFにしてください。*(→P16)*

困ったとき

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または当社営業にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、当社営業へご相談ください。

修理受付／アフターサービス窓口

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：液晶ディスプレイ**
- **型名：N8171-49**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **購入年月日または使用年数**

付録

N8143-54 液晶ディスプレイ/キーボード収納ユニットに取りつけるとき

スタンドの取り付け方

1 **「市販のアームを取りつけるとき」*(→ P25)* に従い、スタンドを固定しているネジ 4 本をはずして、スタンドを外します。**
※取り出したスタンド、金具、ネジは紛失しないように大切に保管してください。

2 **スタンドを外した液晶ディスプレイ本体を、VESA 基準のネジ位置（図 1）に合わせ、スタンドの取りつけに使用していたネジ 4 本 (M4 × 12mm：ワッシャー付) を使用して固定します（図 2,3)。**
※ネジ 4 本を使用して固定する際、仮止めをした状態で LCD が他の部材と接触しないことを確認した後に本締めを行ってください。

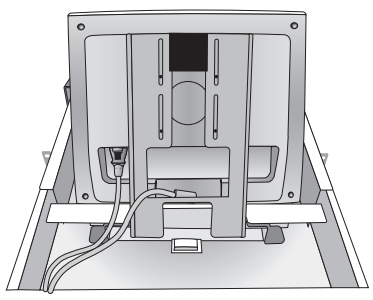


図 1：LCD 取り付け位置

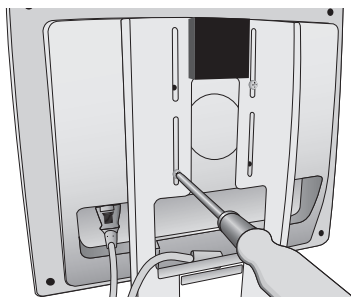


図 2：ネジの取り付け

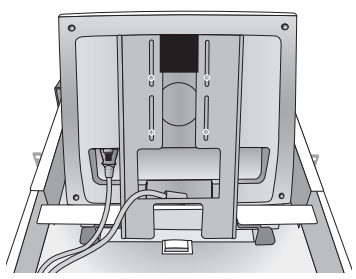


図 3：ネジの取り付け完成

3 **信号ケーブルのコアの部分を図の位置でリピートタイにて固定します。(図 4)**
※スタンドの上げ下ろしをした際に、ケーブル噛みがないことを確認してください。

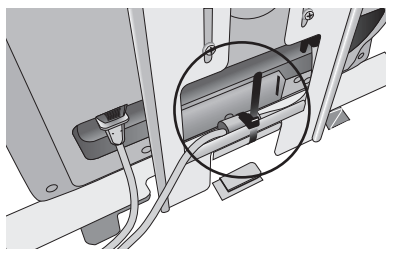


図 4：信号ケーブルのコアを図の位置で固定する。

4 **ケーブルには図 5 のように若干の余長をもたせてルーティングを行ってください。**

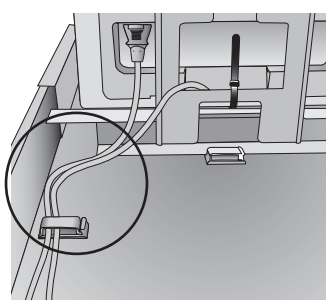


図 5：ケーブルに若干の余長をもたせ、図のようにルーティングする。

市販のアームを取りつけるとき

本機にはVESA規格に準拠した(75mmピッチ)市販のアームを取りつけることができます。

お 願 い

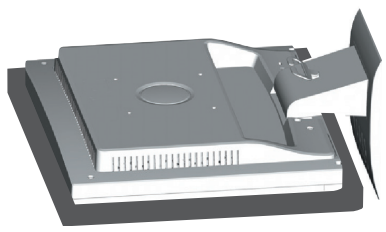
● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。(本機のディスプレイ部の質量は約2.9kgです。)

アームを取りつける際は、下記要領で取りつけてください。

スタンドの取り外し方

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外す

スタンドと床が平行になるように、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置きます。

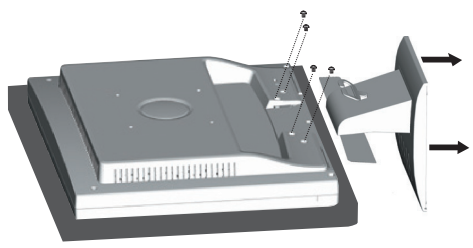


2 スタンドを取りつけている 4 本のネジを取り外し、スタンドを引き抜く

お 願 い

● スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取りつけに使用していたネジをお使いください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。

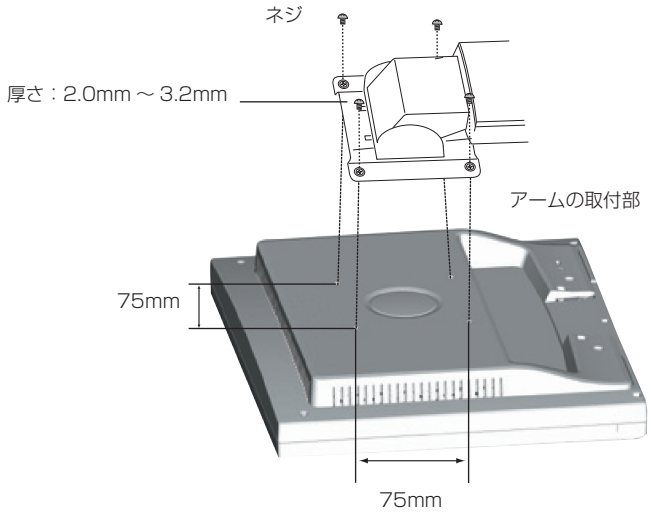
● ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取りつけはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。



アームの取りつけ方

1 スタンドの取りつけに使用していたネジを使って、下記仕様のアームを取りつける

取付可能アーム：
　取付部厚み 2.0mm ～ 3.2mm
　VESA 規格準拠（75mm ピッチ）
ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137N・cm が適切な締付トルクです。)



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

お 願 い

● 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取りつけ作業をおこなってください。
落下してけがの原因となります。

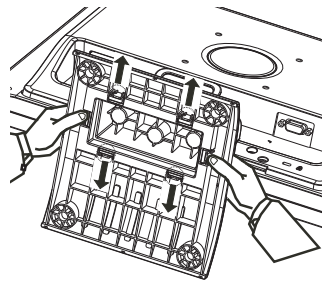
● 取りつけ作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。

● アームの取りつけはお客様の責任においておこなってください。
万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。

● アームを取りつける際は、必ずスタンドの取りつけに使用していたネジを使ってください。
それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でベーススタンドを取り外してください。
水平な机の上に本体表示部を下になるように置いてください。右図の矢印方向に、左右2ケ所ずつ指でつめを押して外してください。つめを4カ所外しベーススタンドを手前にゆっくりと引くと取り外すことができます。



⚠注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。
つめを外す際に指をはさまないように注意してください。

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

DDC 2B 規格（Display DATA Channel）　P29

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格（Display Data Channel Command Interface）　P16, 17, 29

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。この規格に準拠した制御用ソフトを使えば、ディスプレイの前面ボタンだけではなく、色や画質の調節などがコンピューターの側から操作できます。

DPMS（Display Power Management Signalling）　P19

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMSでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

Plug&Play　P19

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

RESOLUTION NOTIFIER　P16, 17, 22

最適な解像度以外の信号をコンピューターで設定している場合に、推奨信号の案内を画面に表示する機能です。

sRGB 規格　P17

IEC（International Electrotechnical Commission）により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA 規格（Video Electronics Standards Association）　P19, 24 ～ 26, 29

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相　P16

アナログ信号をきれいに表示する為の調節機能の１つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

応答速度　P29

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

輝度　P29

単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比　P29

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像　P21

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角　P21, 29

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数／垂直周波数　P18, 29

水平周波数：1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するということです。
垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

チルト角度（Tilt Angle）　P13, 29

チルト角度：ディスプレイ画面を前後に動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／ NTAA（No Touch Auto Adjust）　P19

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

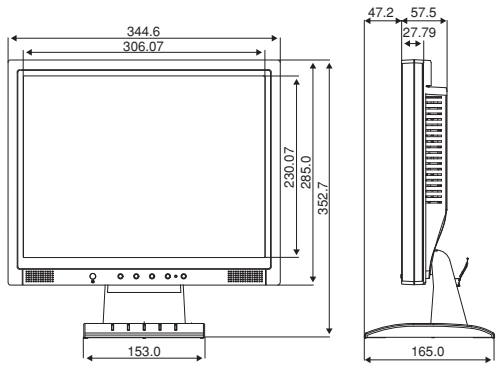
パワーマネージメント機能　P19

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下さます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度　P18, 29

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

型名			N8171-49
サイズ（表示サイズ）			15 型（38cm）
有効表示領域			304.1 × 228.1mm
表示画素数			1024 × 768
画素ピッチ			0.297mm
表示色			約 1677 万色
視野角（標準値）			左右 160°、上下 160°
輝度（標準値）			250cd/m^2
コントラスト比（標準値）			500：1
応答速度			18ms
PC 入力	水平周波数		31.5 ～ 61kHz
	垂直周波数		56 ～ 76Hz
	ビデオ信号		アナログ RGB
	同期信号		セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		ミニ D-SUB15 ピン
音声入出力	入力コネクター		3.5 Φステレオミニジャック
	スピーカー		1W+1W（ステレオ）
	ヘッドフォン		3.5 Φステレオミニジャック
適合規格等	安全		UL60950-1、c-UL
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン、FCC、C-tick、BSMI
	プラグ&プレイ		VESA DDC2B
	その他		DDC／CI、静電気ガイドライン、電気用品安全法（電源コード）、WHQL（WinXP, Vista（Basic）準拠）、VOCガイドライン
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃
	湿度		20 ～ 80%（結露のないこと）
保管環境条件	温度		− 10 ～ 60℃
	湿度		10 ～ 85%（結露のないこと）
電源	電源入力		AC100-240V　50/60Hz
	消費電力	標準	23W
		パワーセーブ時	2W 以下
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ
質量			約 3.3kg（スタンドなし約 2.9kg）
梱包状態（質量 / 寸法）			4.6kg ／ 405（W）× 424（H）× 132（D）mm
チルト角度			上 20°、下 5°
外形寸法			 単位：mm

【ミニ解説】視野角：白と黒のコントラスト比が 10 以上に表示できる角度を示します。

FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.

   (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,

   (2) Please use the supplied shielded video signal cable and audio cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.

2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

   - Reorient or relocate the receiving antenna.
   - Increase the separation between the equipment and receiver.
   - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
   - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

   If necessary, the user should contact the dealer or an experienced radio/television technician for additional suggestions. The user may find the following booklet, prepared by the Federal Communications Commission, helpful: “How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems.” This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington, D.C., 20402, Stock No. 004-000-00345-4.

Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

U.S. Responsible Party:	**NEC Display Solutions of America, Inc.**
Address:	**500 Park Blvd, Suite 1100** **Itasca, Illinois 60143**
Tel. No.:	**(630) 467-3000**
Type of Product:	Display Monitor
Equipment Classification:	Class B Peripheral
Model:	N8171-49

FC

We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.

MEMO

さくいん

英数字

OSD
- OSD画面……14～17
- OSD操作……8,14～17
- 画面の調節をする……14～17
- 自動調節をする……14

Windows®セットアップ……13

あ

安全上のご注意……4～6
案内画面／注意画面
- NO SIGNAL……22
- OUT OF RANGE……19,22
- RESOLUTION NOTIFIER……16,17,22,27

位相……16,21,27
応答速度……29

か

解像度……18,28,29
各部の名称
- ケーブルフォルダー……2,9,12
- 信号入力コネクター……9,10,29
- スタンド……2,8,25
- 操作ボタン……*→操作ボタン*
- 電源入力コネクター……9,29
- 電源ランプ……19,20
- 盗難防止用ロック穴……9
- 本体正面……8
- 本体背面……9

画面
- OSD画面……*→OSD*
- 工場プリセットタイミング……18

規格
- DDC 2B規格……19,27,29
- DDC CI規格……16,17,27,29
- DPM……19,27
- Plug&Play……19,27
- VESA規格……19,24～27,29

輝度……27,29
機能
- NTAA(No Touch Auto Adjust)……19,28
- OSD機能……15～18
- Plug&Play機能……19,27
- RESOLUTION NOTIFIER……12,17,22,26
- 拡大･スムージングファイン機能……19
- 簡易表示機能……19
- ノータッチオートアジャスト機能……*→機能;NTAA*
- パワーマネージメント機能……19,20,22,27
- レゾリューションノーティファイヤー……*→機能;RESOLUTION NOTIFIER*
- 画面調節……15
- カラー調節……17
- 自動調節……14

コネクター……*→各部の名称／接続*
困ったとき……20～22
- NO SIGNAL……22
- OUT OF RANGE……22
- RESOLUTION NOTIFIER……16,17,22,27
- アフターサービス……23
- 解像度……18,28,29
- 画面に何も映らない……20
- 暗い／表示しない……20
- 黒点／輝点……21
- 故障かな？と思ったら…20～22
- 最適信号……22
- 残像……21,27
- スピーカーから音が出ない！……22
- ちらつき……21
- 電源ランプ……19,22
- バックライト……20
- 表示がおかしい……21
- 表示されない……20
- 表示色……21
- 分配器……21

コントラスト比……27,29

さ

残像……*→困ったとき*
視野角……21,28,29
周波数……18,28,29
仕様……29
- 応答速度……29
- 外形寸法……29
- 解像度……18,28,29
- 画素ピッチ……29
- 輝度……27,29
- コントラスト比……27,29
- 質量……29
- 視野角……21,28,29
- 周波数……18,28,29
- 使用環境条件……29
- 消費電力……29
- チルト角度……13,29
- 適合規格等……29
- 同期信号……29
- ビデオ信号……29
- 表示画素数……18,28,29
- 表示色……29
- 保管環境条件……29
- 有効表示領域……29

垂直周波数……18,28,29
水平サイズ……16
水平周波数……18,28,29
接続
- アナログ接続……2,10
- コネクターとケーブルの対応表……10
- 角度を調節する……13
- 信号ケーブルを接続する……11
- 接地(アース)……12
- 電源を入れる……12
- 電源を接続する……12
- ヘッドホンの接続……13
- 変換アダプター……10,20
- ミニD-SUB15ピン……2,9～11

設定……14
- 自動調節をする……14

操作ボタン……8
- ＋ボタン……8
- －ボタン……8
- AUTO/RESETボタン……8
- SELECTボタン……8
- 電源スイッチ……*→電源*

た

タイミング……18
端子……2,9
調節項目……16
- HOT KEY……17
- OSDオートオフ……16
- OSDロック……16
- RESOLUTION NOTIFIER……16,17,22,27
- 位相……16
- オートコントラスト……16
- オールリセット……16
- 言語切替……16
- コントラスト……16
- 下／上……16
- 自動調節……14,16
- 水平サイズ……16
- 左／右……16
- ブライトネス……16

チルト角度……13,29
電源
- アースリード線……12
- 電源コード……2,9,12
- 電源スイッチ……8
- 電源電圧……12
- 電源プラグ……12
- 電源容量……12

同期信号……18,29

は～ら

ビデオ信号……29
表示画素数……18,28,29
付属品……2
- 液晶ディスプレイ構成品表……2
- オーディオケーブル……2,11
- ケーブルフォルダー……2,12
- 信号ケーブル……2,10,11
- セットアップシート……2
- 電源コード……*→電源*
- ベーススタンド……2,8
- 保証書……2,23
- ユーティリティーディスク……2,13,22

付録……24
- N8143-54液晶ディスプレイ／キーボード収納ユニットに取りつけるとき……24
- 市販のアームの取りつけかた……25
- スタンドの取り外しかた……25

保証とアフターサービス……23
ユーザーメモリー機能……18
用語解説……27,28

N8171-49 15 型液晶ディスプレイ
取扱説明書
2010 年 8 月初版
日本電気株式会社
東京都港区芝 5 丁目 7 番 1 号

©NEC Corporation 2010